

1 看護研究はどんな役割をもつか

看護の精神と教育の方法

- 1 文化からの経験、倫理からの看護研究
- 2 知識の根源、集積と試行錯誤
- 3 論理的推論と分析

看護研究の課題と意義

1. 実践現場での研究
2. 臨床、教育、管理の現場
3. 対象者の安全、尊厳、道義的配慮

看護論文の例

- 例 1. 看護学生の職業社会化
- 例 2. 在宅患者の服薬
- 例 3. 入院中患者の自殺

参考の資料；

- [1] 「看護における研究」 南裕子編集 日本看護協会出版会 2016
- [2] 「看護学生のためのケース・スタディ」 高橋百合子監修 鎌倉やよい／深谷安子 編集 メディカルフレンド社 平成 28 年
- [3] 「エッセンシャル看護情報学」 太田勝正／前田樹海 編著 医歯薬出版 2006

2 統計学とアンケート調査

統計学は、集団における概況の情報ととして、数値、項目、分類データの取り出し、分析により、集団としての認識把握する、客観的な集団の比較をすること。さらにその情報をもとに、判断や決定をおこなうことから、将来への変動を推定し、予測する。

[キーワード] 日常の医療活動、看護記録、医師の診療記録、種々の検査結果

- 統計手法の応用
- 医療と診断、経過の連携
- 分析、解析
- アンケート調査

アンケート調査の例：

ある地域には寝たきり状態の老人はどのくらいいるのか？高齢者の健康状態は？ また生活状態は？このような地域集団の把握には統計調査が必要となる。

1. 調査には、どのくらいの標本データをとればよいか、
2. 集団の抽出方法、調査には、項目をどう挙げるか、 実際にあたる人員は面接か、質問用紙の回答か
3. 集計とその分析のための各種手法
4. 結果の分析とその公表はどうするか

3 標本調査

標本と母集団： 全数調査と標本調査、標本データ、母集団：対象集団の全体標本の抽出方法（サンプリング）：層別抽出、無作為抽出（ランダム・サンプリング）、登録名簿の偏り、正確な名簿からの抽出と割当て、

統計調査（センサス）：

- 1 政府、自治体による統計調査：政策策定や福祉向上、国民性、国際比較などの調査、国勢調査、家計調査、経済調査、e-stat
- 2 学術研究のための調査：社会学、経営学、医学や薬学、自然科学、農学
- 3 企業による調査：市場マーケティング、経営戦略や運営会議の資料

3.1 調査の過程と手順

1. 調査の目的、相談合議による決定、協力者との協議、実施の許可、承諾、その依頼
2. 調査対象（地域、対象者）の決定
3. 調査方法と標本の大きさ：調査員の面接か質問紙の送付回答、インターネット、匿名性の必要性データの保護、守秘義務
4. 質問紙の項目選択と作成
5. 調査員のトレーニングとプレテスト、実施の詳細手順確認
6. 本調査の実施と調査票の回収
7. 集計とコンピュータ処理
8. 分析；多変量解析等の理論、結果の解析、問題点の把握、報告書や論文の作成

4 アンケート調査の実際、疫学調査

参考：「看護情報学」第4部 第11章 調査によるデータ収集法
統計処理の方法：パソコンのソフト利用